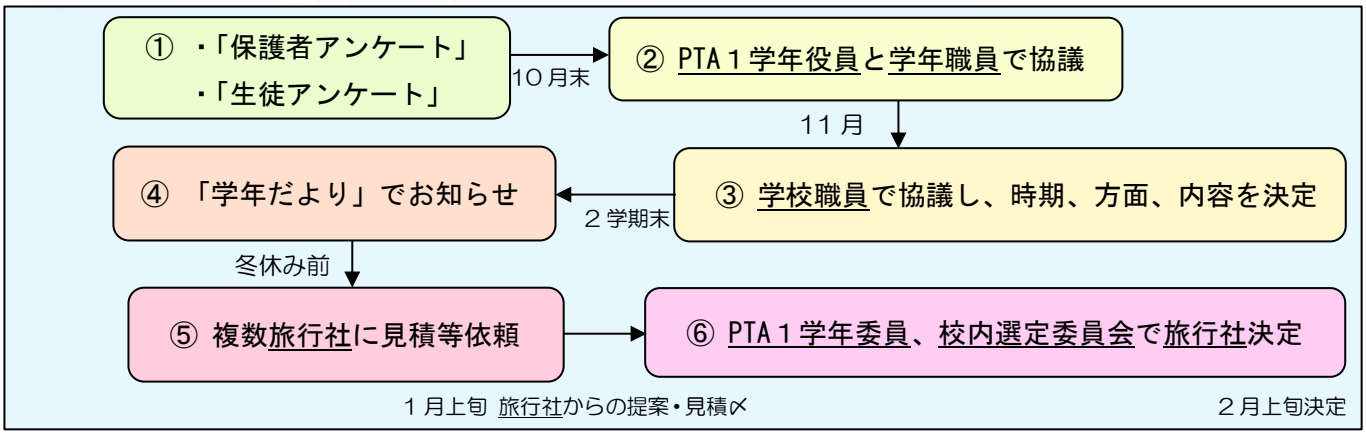
１学年だより
修学旅行　特別号

上越市立城西中学校
R3. 12. 24　№３９



10/22 付のたよりで、上記のように進めることをお知らせしました。生徒のアンケートは予定時期より遅く行いましたが、心配事も含めてじっくり意向を見させてもらいました。この間、感染状況の変化とともに社会情勢も変化し、今後もどうなるか予測がつかないままです。一時の落ち着きなのか、今後少しずつ沈静化していくのか…　結局、不安材料を抱えたまま結論を出さなければいけませんでした。以下、アンケート後の経緯です。

生徒、保護者の考えを踏まえつつ、学年職員で検討したこと

①　この状況下で例年どおりの実施が難しいことを、保護者の多くから理解していただいていることがよくわかった。生徒も同様の傾向だが、できるなら関西方面に行きたいという声は多い。古都の文化に触れるよさも十分わかり、可能なら行かせたいと思うが…

> 昨年、一昨年のように「計画したが行けない」となったとき、企画料・キャンセル料（一人当たり５千円～８千円程度）を支払うことはできるだけ回避したい。
> また、介護や医療現場で従事する保護者の勤務に支障をきたしている実態から、感染拡大しやすい観光地、都市部は避けるべきと考えている。

②　保護者からは、柔軟な対応に配慮してもらえればよいという意見が多い。ただ、感染対策を徹底することで必ず修学旅行は実施してほしいという願いが強いことがわかった。また、宿泊体験の意義にも期待感が強く、近くでもよいので泊を伴うことを希望する声が多かった。

> 学年部として、宿泊行事としての修学旅行は実施する方向で企画を進める。
> 積立金６５，０００円（予定）を有効に使わせていただくこと、一泊を原則に学年生徒がまとまって宿泊できる宿舎であること、少人数での部屋割りが可能な宿舎とする方針で企画依頼する。
> 方面については、近県を含め、旅行業者資料を参考に年内に決定する。

学年部としての案（関西方面・二泊三日は断念）

	第１案	第２案
時期	２年次　令和５年３月８日（水）～９日（木）	３年次　令和５年５月中旬
方面	石川県（金沢・加賀・能登） 長野県（松本・木曽・諏訪・白馬） 山梨県（八ヶ岳周辺・南アルプス） 新潟県（中・下越方面）	石川県（金沢・加賀・能登）　富山県（立山・富山） 長野県（松本・木曽・上高地・諏訪・白馬） 山梨県（八ヶ岳周辺・南アルプス） 新潟県（中・下越方面）
宿泊	ホテル　一泊　学年で一か所	ホテル　一泊　学年で一か所
交通	借上げバス５台	借上げバス５台
オプション	３年次５月の遠足で、クラス別県内バス遠足	３年次１０月に、クラス別県内バス遠足

オプションについては、一泊にしたことを補い、生徒の体験の機会をつくることをねらったもの。

京都・奈良は、今でこそ空いていて観光には適しているようです。しかし、感染が仮に収まったとき、外国人観光客が再び押し寄せ、現地観光や班別活動に支障をきたすことも懸念されています。それがいつになるのかも予想はできませんが、不安材料が多くある中、積極的に（冒険的に）方面として選ぶことはしないという判断です。また、だめもとで企画だけは進めておいてもよいのではないかというご意見も保護者からいただきましたが、やはり企画料・キャンセル料を払うことをためらうご家庭も多いのも事実です。学校としても苦渋の決断であることをご理解ください。

実施時期について

２年次の締めくくりの活動としての位置づけを重視すると…第１案

例年どおりの時期が適切であり、３学期の総合的な学習の時間での学びとリンクさせることができると考えた。ただし、３月とはいえウインターシーズンなので、方面は限定され選択肢は減ってくる。

近県でも方面の選択肢が増え、体験活動等を重視すると…第２案

春にオープンする施設が増え、魅力的な観光地は多い。なかなか家族でも行かないような場所をえらぶことができる。ただし、新学年の第一教育期にあたることから、学級づくりに重点を置くことになる。２年次の締めくくりの目標を別に設定しなければならない。学級での準備、予備学習に、さほど時間をかけることができない。

ＰＴＡ学年委員さんのご意見もいただき
学校で方針の最終検討をしました。

基本方針

（１）ねらい

- **観光資源やそこに携わる人、その地に根付く文化や新たな試みなど、地域に根差した取り組みを知ることができるようにする。（学習）**
- **社会性実践の場として位置づけ、校外でのマナー、エチケット、あいさつ、お礼等、場に応じた判断、行動を実践、評価することができるようにする。（社会性）**
- **学校以外の場所において、仲間と生活や活動をともにすることで、相互理解を深めたり協働の態度を強化したりできるようにする。（なかまづくり）**

（２）時期と日数（表面　第１案で　２年次３月）

令和５年３月８日（水）～９日（木）　一泊二日とする

（３）方面（表面　第１案で）

小学校の修学旅行で行っていない場所　近県で一泊行程が可能なところ　体験ができるところ

山梨県（八ヶ岳周辺・南アルプス・富士五湖　等）エリアが候補地としてあがってくる

旅行社の提案も含め、他の方面も検討していく

（４）オプション

３年次の５月に、日帰りバス遠足を企画し、修学旅行の積立金を充てる。

３年生の新しいクラスで親睦を深めること、思い出づくりをねらいとして実施する。

上記を学校としての決定とし、旅行社に企画依頼します。ＪＴＢ、日本旅行、近畿日本ツーリストの三社の予定です。旅行社選定にあたって、方面の提案、体験内容、感染予防対策、宿泊場所、経費、無理のない行程等、魅力のある提案を選ぶようにします。保護者を代表し、学年委員の皆様からも検討していただくことになります。何よりも、安心・安全を最優先に検討させてもらいますが、生徒にとってよい思い出になることを目指し、企画を継続していきます。

なお、「ワクチン接種の状況は？」という質問が複数ありました。人権的な配慮の視点から国全体として、学校における調査・集約は禁止されていますので、お答えできない状況です。ご了承ください。